

# 世界の民話を読もう

「木かげにごろり」～お話データブックを作ってお話会をしよう～

三原市立三原小学校 土井直子

## 1 実践の趣旨

本学級の児童は、音読やふきだし作りで登場人物になりきって読んだり、ファンタジーの世界を楽しむ通信を作る活動を意欲的に行ってきたりしている。しかし、読む力・書く力の個人差が大きく、内容を正しく読み取ったり、物語のあらすじを書いたりすることが苦手な児童が数名いる。そこで、本単元では、民話のおもしろさにふれ、起承転結を意識しながらあらすじをまとめていく活動を設定した。

## 2 実践の概要

(1) 単元名 世界の民話を読もう 教材「木かげにごろり」(東京書籍 3年下)

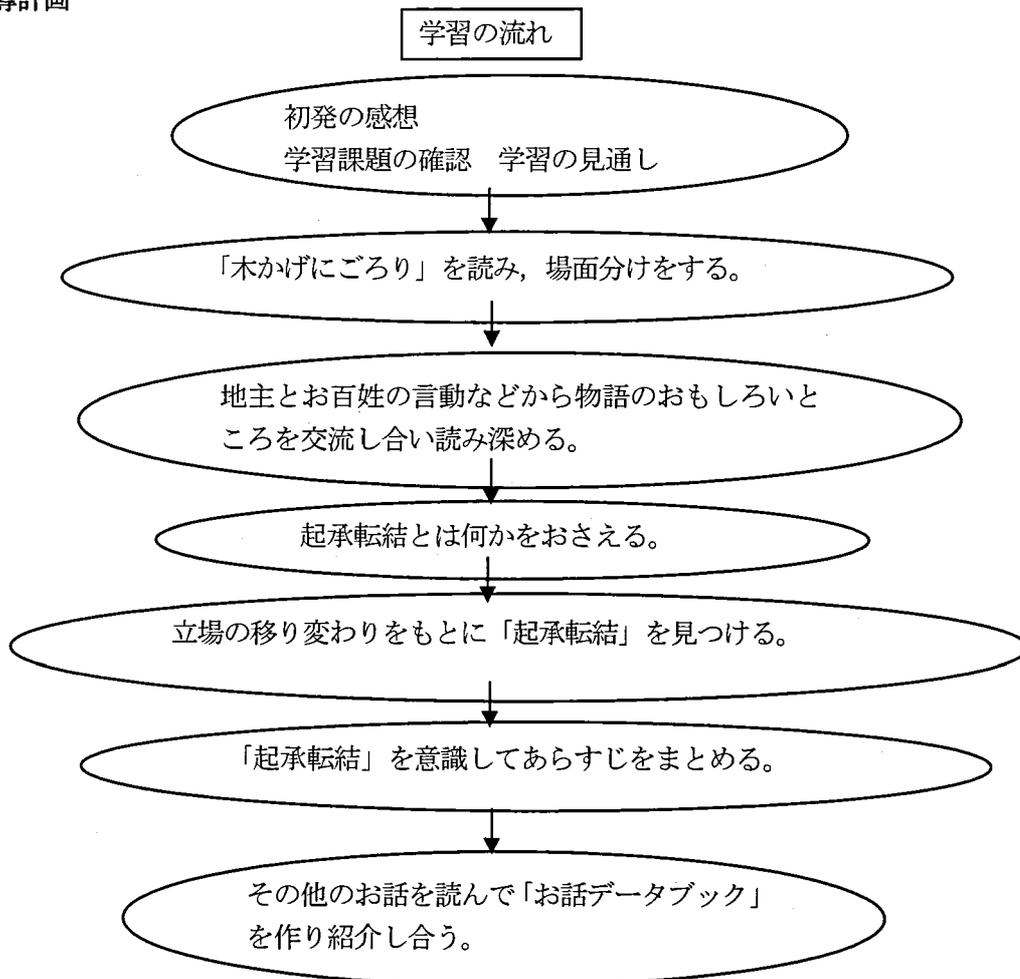
### (2) 単元の目標

- 世界の民話に興味を持ち、お話のおもしろさを味わって読むことができる。
- 場面の移り変わり、人物の行動や心情に注意して読み、物語のあらすじを正確に読み取ることができる。
- 段落相互の関係を踏まえ、起承転結を意識して物語のあらすじをまとめて書くことができる。

### (3) 手立て

- ・ 単元を通して「お話データブックを作る」という目的意識をもたせる。
- ・ 4コマ漫画から起承転結を学び、あらすじをまとめる時に生かせるようにする。
- ・ お話の山となる「転」を見つけ、交流する場を設ける。

### (4) 指導計画





結	転	承	起
④ その昔、ある村に、お話を聞かされた。...	③ その昔、ある村に、お話を聞かされた。...	② その昔、ある村に、お話を聞かされた。...	① その昔、ある村に、お話を聞かされた。...

◇ 起承転結に分けてお話を考えよう。

◇ 起承転結の「転」を見つけてみよう。

五 場面 理由 五十年前、ある村に、お話を聞かされた。...

木かげにごろり 名前

起承転結の「転」を考え、その理由を交流していった。「転」を確定した後、「起・承・結」を分け、短い文章にまとめた。

「起承転結」を分けた後、それぞれを短い文章でまとめ、それをつなぎあわせ起承転結になっているあらすじを「お話データブック」として1枚にまとめた。

### 木かげにごろり

金森 義作 文  
鄧 球香 絵

【あらすじ】

その昔、ある村に、お話を聞かされた。...

ここがめしういよ！  
地主の言葉の「いえ」とん  
でそないものを売って  
しま。た。か。い。めしうい  
よ。

土井し どん

### 三ひきのやきの がらからとん 北欧民話

マン・プランン 絵  
せた てい 文

【あらすじ】

その昔、ある村に、お話を聞かされた。...

ここがめしういよ！  
三番目のやきかトクをこぼ  
かした町。

おぐごこ じえい

起承転結のつなぎに気をつけてながらお話データブックを作っていた。

図書室にある本の中から、気に入った本を選び、お話データブックにまとめていった。

### 3 成果と課題

- 4コマ漫画を使っでの「起承転結」の学習は、児童の関心が高く、後のお話を起承転結に分ける学習の意欲付けとなった。
- 以前、物語文をまとめた通信を書いた時は、あらすじとしてまとめることが難しい児童がいたが、今回お話を「起承転結」に分けることで、お話の大きな構成が理解しやすく、あらすじを書く手立てとなった。
- ワークシートに、一人読みでのおもしろかったところや起承転結に分けた理由を書いたことで、文章にじっくりと向かい、叙述をおさえながら考える児童が増えた。
- 「木かげにごろり」では起承転結に分けあらすじを書けた児童も、別のお話になると起承転結に分けあらすじを書くことが難しくなった場合があった。別のお話にも対応していく力をつけるためにはどのような指導法が望ましいのか、課題設定や授業構成の工夫を研究し、今後も検証していく。